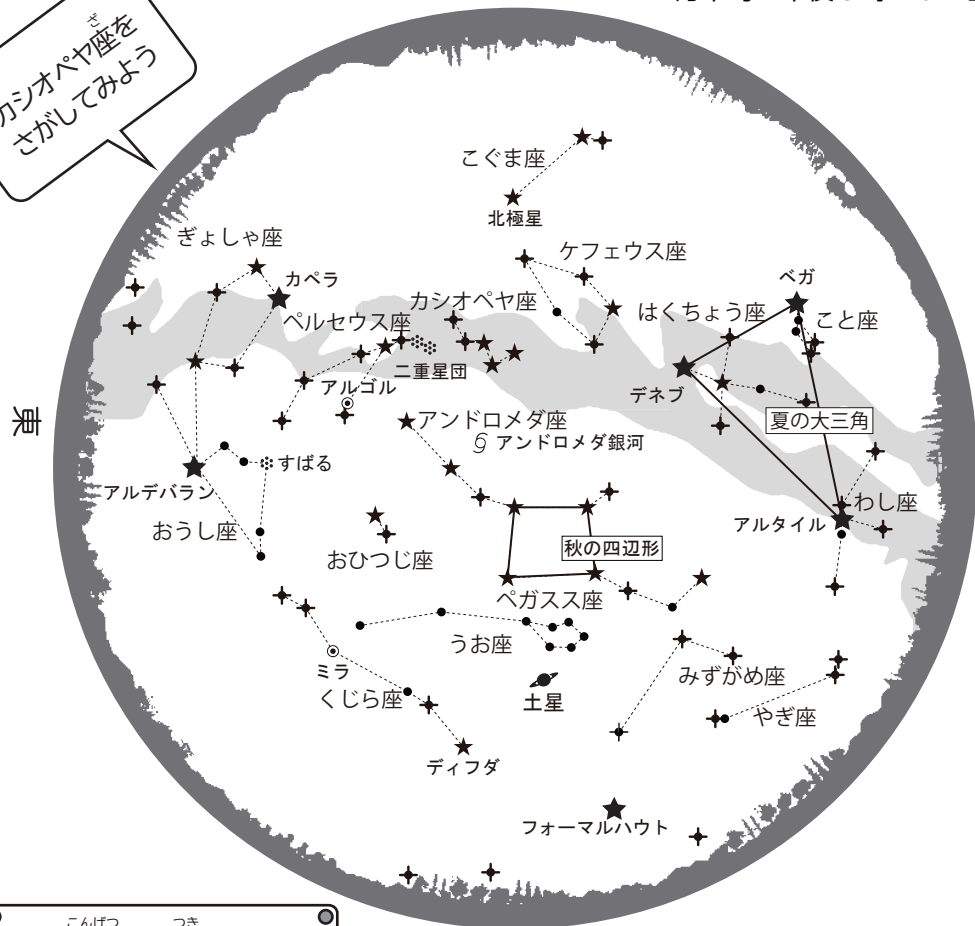


星空だより

2025年11月
No. 180
富山市科学博物館

11月中旬 午後8時ごろの星空

カシオペア座をさがしてみよう



～今月のお月さま～

11月 5日	満月	○
11月12日	下弦	◐
11月20日	新月	●
11月28日	上弦	◑

南

見たい方向が
下になるように持って
その方角の空を
見てね。



もうひとつのお月見

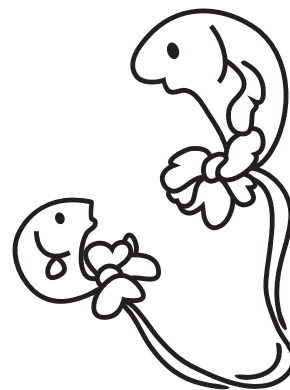


今年の10月6日は、「中秋の名月」といってお月見をする日でした。11月2日には「後の月」という、2度目のお月見があります。この時の月は満月より少し欠けた形をしていて、「十三夜の月」とも呼ばれています。

また後の月は「栗名月」とも呼ばれ、栗をお供えするところもあります。もうひとつのお月見も楽しみましょう。



黄道十二星座紹介 ☆ うお座 ☆



うお座は、ギリシャ神話に出てくる女神アフロディーテとその息子エロスが変身した姿といわれています。二人が神様たちの宴会に参加していると怪物が襲ってきました。二人は離れ離れにならないようにお互いの体をリボンで結び、魚に変身して川を泳いで逃げたそうです。その姿がうお座になったといわれています。

※黄道十二星座って？

太陽の通り道（黄道）に沿って並んだ12個の星座のこと。誕生日の12星座としてよく知られています。

星空観察会

毎週土曜日の夜に開催。（12月～2月は第2・第4土曜日）
詳しくはウェブサイトをご覧ください。



今月の さがしてみよう

カシオペヤ座と 北極星

11月中旬 午後8時ごろの北の空



北の空高くに見えるカシオペヤ座から北極星を探してみましょう。

①アルファベットの「M」の形をしたカシオペヤ座の両端の2つの星をそれぞれつないで伸ばします。②伸ばして交わった所と、カシオペヤ座の真ん中の星をつなぎます。③つないだ長さを5倍伸ばしたところにある星が北極星です。

北極星の明るさは2等星でそれほど明るくありません。北極星がある方向が北になります。

今月のオススメ星座！

アンドロメダ座



秋の四辺形の北東側の星から並ぶ3つの2等星が目印です。アンドロメダ銀河 (M31) は私たちがいる銀河系のお隣の銀河で、空の暗いところでは肉眼でも見ることができます。アンドロメダはギリシャ神話に出てくるお姫様の名前です。

ペルセウス座



カシオペヤ座の隣にあります。毎年8月中旬ごろにたくさんの流れ星が見られるペルセウス座流星群が有名です。ギリシャ神話では、くじら座として描かれる怪物を倒して、アンドロメダ姫を助けた勇者です。

天文コラム

大きな満月、小さな満月

11月5日の月は、今年一番大きく見える満月です。これは月自体が大きくなるのではなく、満月の時の地球と月の距離が、今年一番近くなるからです。

月は約1か月かけて地球の周りをまわっていますが、その軌道は、少しゆがんだ円 (楕円) をしているため、地球と月の距離はこの1か月の間で変化します。地球と月の距離が近い時に満月になると、満月は大きく見えて、反対に遠い時に満月になると、満月は小さく見えます。

2025年 距離による満月の見かけの大きさの違い



2025年最も近い満月
11月5日 22時19分
約35万7,000km



2025年最も遠い満月
4月13日 9時22分
約40万6,000km

国立天文台